



発行所
公益財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田1丁目2番1号
ダコタハウス5階
電話 03 (3518) 6121
FAX 03 (3518) 6122
E-mail: mizuho.iku@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動



公益財団法人 漁船海難遺児育英会

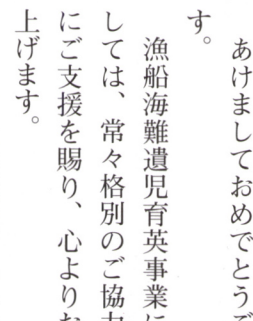
理事長 鈴木俊一

新年あけましておめでとうござ
います。皆さまには健やかに新年
を迎えられたこととお慶び申し上
げます。

昨年のが国の漁業は一昨年の
大震災の影響に加え、世界的な景
気の減退、特に欧米や新興国の
経済の減速による外需の伸び悩
み、円高による輸出の停滞等が重
なり、また、福島原発事故の放
射能物質による水産物の風評被害
等々、厳しい状況が続いておりま
す。

東日本大震災が発生してからす
でに1年10カ月を経過しようとし
ていますが、被災地では、国や自
治体等によるさまざまな支援が行
われているものの、いまだに多く
の課題が山積している状況にあり
ます。漁業・漁村の一日も早い復
興を心よりお祈り申し上げます。

本会は、大震災の大津波により
犠牲となった漁業者の遺児・遺族
に対し、被災地の漁連・漁協なら
びに各都道府県教育委員会の協力
を得て、本会育英制度利用の呼び
かけを実施し、昨年12月末までに
震災遺児71名を奨学生として採用
したところであります。
また、本会は公益法人制度改革



漁船海難遺児を励ます全国協議会

会長 服部郁弘

あけましておめでとうございま
す。
なめる重要な取り組みです。
そのような中、昨年3月に閣議
決定されました水産基本計画へ
「漁船漁業の安全対策の強化」の
1項目が初めて設けられました。

さて、漁業操業の安全確保は、
海難事故による悲しみを減らすた
めの全国共通の思いであり、また、
魅力ある職場の環境作りや新規就
業者を含めた担い手育成対策につ
いて、漁業操業の安全確保は、
及活動、無線の活用、漁船の復元
性の向上、ライフジャケット着用
推進の取り組み強化等が挙げら
れ、既に、官民をあげて推進体制
の整備、強化が図られております。

賀正



全国漁協女性部連絡協議会

会長理事 岡本リセ子



謹んで新春のお慶びを申し上げ
ます。
東日本大震災発生から、早くも
2度目のお正月を迎えました。被
災地では、今も復旧・復興への休
みない努力とご苦労が続いている
ことに思いを馳せ、日本中がひと
つになつて被災地を応援し、元氣
な日本を1日も早く取り戻すこと
から71人の奨学生を採用するな

がでることをお祈りいたしま
す。
さて、漁船海難遺児育英会は昨
年4月1日より新制度の下、公益
財団法人漁船海難遺児育英会とし
て新たなスタートを遂げたところ
でございますが、綿密な調査と呼
びかけにより東日本大震災被災地
から71人の奨学生を採用するな

ライフジャケットの着用に関し
ましては、万一の場合に被害を少
なくさせることが期待できる身近
な安全対策の取り組みであること
から、JFグループにおいても女
性部を中心に着用推進が図られて
おりますが、残念ながらまだ着用
率が高くありません。
引き続き、ご家族の皆さまから
もライフジャケット着用のお声か
けをお願いいたしますとともに、
漁船海難遺児を励ます全国協議会
(全協)におきましてもJFグ
ループと連携し、操業の安全確保
に取り組みで参りたいと思ってお
ります。
また、育英事業を支える支援部

隊であるJFグループと育英会と
の連携強化を図る更なる手段とし
て、全協では全漁連と連携し、
本年4月から第9期募金運動(3
カ年)の実施に向けた検討を進め
ております。
つきましては、今後、第9期募
金運動が推進されることになりま
した際には、皆さまの積極的な参
加をお願い申し上げます。
むすびに、被災されました地域
の漁業、漁村の1日も早い復興・
再生を心よりご祈念申し上げます
とともに、操業の安全ならびに皆
さま方のご多幸を祈念申し上げ、
新年の挨拶といたします。

ど、さつそく公益の負託にこたえ
べく仕事をされていることを頼も
しく感じております。
また、昨年は大震災の影響で中
断していましたが、奨学生と保護者
の交流活動である「ふれあい旅行」
が無事再開され、育英会だよりの
紙面から溢れる子供たちの笑顔に
接し、支援に対する確かな手応え
を感じた所でもございます。

例えば漁船海難遺児育英会は、
今から43年前の1970年に「仲
間の子供は自分たちの子」という
相互扶助の精神が実を結び、漁業
者の間に遺児たちを励まそうと全
国運動がスタートした訳ですが、
ここには私も女性部が現在取組
んでいる「男女共同参画」の原点
を見る思いがいたします。
当時は、今以上に物事を決める
のは男性中心。ところが、この運
動は浜のお母さんたちの声から始
まり、その声が男性たちをそして
組織を動かし、法人の設立という

年頭にあたり、この象徴とも言
える運動を私もJF女性部は引
き続きしっかりとサポートして行
くことをお誓いしますとともに、
関係各位の一層のご努力と皆さま
のご支援を願うものでございま
す。
最後に、奨学生の皆さまが勉強
やスポーツ、お手伝いに励まれ、
たくましく成長されますことを、
そしてご家族の皆さまにおかれま
してはお子さまの成長を温かく
見守り、健康で夢と希望にあふれ
た実り多い1年でありますことを
祈念いたします。

第63回全国漁港漁場大会

10月25日、(社)全国漁港漁場協会が主催する『第62回全国漁港漁場大会』が、青森県青森市のマエダアリーナにて盛大に開催されました。

昨年発生した東日本大震災の影響で2年ぶりの開催となった今年は、全国各地から関係者ら約2千人が集結し、被災漁港・漁場・漁村の早期かつ計画的な復旧・復興および全国の漁村の生活と水産業を守る防災・減災対策の推進などの提言案が満場一致で採択されました。

本会では、今年も会場受付付近等で募金活動を行い、来場された皆さまより温かいご支援を賜ることができました。大会主催者はじめ、一緒に募金を呼び掛けてくださったJF青森漁連・信漁連、野内地区漁協女性部の皆さん、また、ご協力いただいた多くの皆さまに心より感謝申し上げます。



第32回全国豊かな海づくり大会

11月17、18日の2日間、『第32回全国豊かな海づくり大会』(豊かな海づくり大会推進委員会、第32回全国豊かな海づくり大会沖縄県実行委員会主催)が、沖縄県糸満市にて盛大に執り行われました。

この大会は、水産資源の維持増養と海の自然環境保全の必要性を広く国民に訴えることを目的として、1981年から毎年各地持ち回りで開催されてきました。今年度は、美しい海に囲まれ、本土復帰40周年を迎えた沖縄県で、「まろうよ きせきのほしの あおいうみ」をテーマに開催されました。

18日、糸満市西崎総合体育館では、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、地元の子供たちによる舞踊や合唱、功績団体や作文コンクール等優秀作品受賞者の表彰式などが行われました。その後、会場を糸

満漁港北地区に移し、漁船パレードや舟を漕いで競う伝統の祭り「糸満ハーレー」、民俗芸能「エイサー」が披露されるとともに、両陛下によりハマフエフキやヤイトハタの稚魚が放流されました。

本会においては、(財)日本ボーイスカウト沖縄県連盟の皆さん(団長他引率者14人・団員38人)にお手伝いただいた、17日はイベント会場、18日は式典・放流会場で行いました。イベント会場では大雨に見舞われたものの、子供たちの元気で熱心な呼び掛けに、各会場に来場された多くの皆さまから温かいご支援を賜ることができました。

大会主催者ならびにJF沖縄漁連ほか、本会募金活動にご協力いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。なお、次回、第33回大会は、10月に熊本県で行われる予定です。



▲ イベント会場



▲ 放流会場



◀ 式典会場



10月23日、『2012年度第3回奨学生選考委員会』が開催され、「第3回奨学生出願者(7月15日締切)の選考」について審議されました。この結果、学資給与奨学生として幼児1人、小学生1人、中学生1人の合計3人が採用されました。

なお、新規奨学生を加えた12月15日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」のとおりです。

2012年度
第3回奨学生選考委員会

お知らせ

ゆび募金(募金型自動販売機)による
2012年8月末までの寄附金累計額は

433,137円です。

ご協力ありがとうございました。

※ゆび募金に関するお問い合わせは事務局まで



(式典会場写真提供) 水産経済新聞社

「2012」

ふれあい旅行

―保護者の思い

前号で、7月27日から2泊3日の日程で行われた「2012ふれあい旅行」の様子や子供たちの感想を掲載させていただきましたが、今回は、旅行に参加された保護者の皆さんが、事前に書いてくださった作文の一部をご紹介します。

さしのべ、正しい道へと導いてください。そして、私たち家族に優しく手をさしのべてくださった皆さま、心より感謝を申し上げます。

(青森県 R・O)

*2011年3月11日、激しい揺れ、そして大津波、私たち家族の忘れることのない日です。―東日本大震災。避難所での生活、先の見えない不安の中、あなたが帰ってくることを願いながら、子供たちと毎日遺体安置所に通いました。辛さ、悲しさ、複雑な思いでした。4月17日、「おかえり」「ただいま」無言の再会でした。現実、思っていたよりも酷いもので、あなたがいてこそ家との繋がりができました。「中略」私には、あなたが残してくれた3つの宝があります。3つの宝を大事に、励みにして生きてゆこうと思ひます。そして、いつも冷静でやさしいお父さんをお父さんたちは誇りにしています。「ありがとう」遠い空からずっと、ずっと見守ってください。ご支援くださる皆さまに心より感謝申し上げます。

(神奈川県 N・Y)

*今から9年前の7月2日に事故が起きました。この事故が起るまでは、事故が起るなんて他人事と思っていなかった。突然姿を見ることがなくなった。突然お父さん。今でもどこに居るのかな？と、7月になるとあの日のことを思い出します。上のお兄ちゃん、真ん中のお姉ちゃん、小学5年生、一番下の子は3歳になったばかりでした。「中略」皆、特に大きな病気もせず、それぞれが9年間、心も体も立派に成長してくれました。「中略」もうしばらくの間、末のお兄ちゃんがお世話になります。ですが、よろしく願います。またどこかで何かの形で皆さまに恩返しできればと思っております。

(鳥取県 C・S)

*現在、息子は中学3年生です。趣味は釣り。受験生だということに、休みの日には海に連れて行けというさくせがまれます。息子の釣道具の中には、昔、主人が使っていたものもあり、それを手入れする息子の姿と主人の姿が重なり、とても不思議な感じがします。もし、主人が生きていれば息子と漁に出たり、漁具の手入れの仕方や魚の釣り方も教えてくれたことでしょうか。きっと主人もそうだったはず。最近、息子の話（おやじギャグやオチの付け方）が主人に似てきました。こんなところまで遺伝するのでしょうか。かね？下の娘は小学6年生。残念ながら父のことは全く覚えていませんが、たまに小さい頃の話をすると嬉しそうに聞いています。将来は、災害救助犬のトレーナーになることが夢です。「中略」学校でも劇で主役をやったり、運動会では応援団に入って頑張ったりと活発な子に育ちました。放課後や休日にはたくさん友達と遊んでいます。2人の兄弟、ケンカばかりの毎日ですが、明るく元気に育っています。

(岡山県 K・I)

*主人がいなくなって10年がたとうとしています。あつという間に過ぎたかのようです。長男は21歳、二男は小学6年生、私は主人の歳をおいこしてしまいました。「中略」買い物等へ出かけると家族連れが多く、よその子供が「お父さん」と呼んでいると、じーっとそれを見ていた二男。きつと自分も「お父さん」と呼んでみたいんだらうなと思っていました。一昨年、ふれあい旅行に参加して、同じような境遇の子供たちと数日過ごしただけに、心が落ちついたかなのか、それからは見るものが少なくなりました。何を感じたのかはわかりませんが、父親がいなのは「自分だけではない」と感じ取ったからかもしれません。「中略」いつも温かく見守ってください。皆さま、ありがとうございます。

(長崎県 K・H)

*娘が1歳7カ月の時に、突然船の事故でこの世を去った夫。当時、結婚して間もなかったため、この先どうしていいのかわからず不安な日々を過ごしました。幼い娘を育てながらの毎日、夫の死を悲しむというより、娘の存在で救われたような気がします。「中略」これまで何となく「父親がいてくれたら」と思うことも多々ありま



した。それでも娘は父親の存在を知らないためか、明るく思いやりのある優しい女の子に成長してくれ、勉強やスポーツ、習い事に一生懸命取り組んでいます。いつも頑張る姿をパパにも見てもらいたかったな。と思うことがよくあります。きつと、天国で微笑んでいてくれるか！と思うところです。育英会にも、幼児の頃から大変お世話になりました。本当に感謝しています。これからまだまだお世話になりますが、いつかきつとご恩返しができるよう、日々頑張ります。

(鹿児島県 I・T)

*主人が海難事故で亡くなってから、早いもので5年の月日がたちました。長女は小学校6年生となり、小学1年生から始めたバレエ

ボールのキャプテンとして頑張っています。長男は、主人とわずかに1カ月しか一緒に生活していませんが、父親の記憶はほとんど無いもののだと思っていました。私たちが忘れかけていた主人の好物な食べ物など、今まで一緒に生活して来たかのようにいろいろ話をしてくるので、はつととさせられることが多々あります。きつと主人が、空から息子に語りかけているのかもしれない。これから2人の子供の成長を温かく見守っていこうと思います。最後に、いろいろな方温かいご支援、本当にありがとうございます。 (鹿児島県 S・M)



第23回

東京でも寒い日が続いており、みなさんいかがお過ごしですか？

私は寒いのが苦手なので、少しも頑張らずに家事にお湯を使います。(お米を研ぐのもぬるま湯です)なので、この時期は手荒れがひどくなります。おかしなことに「30代前半」までは気が向いた時にクリームを塗ればフワフワだったのが「半ば」になると常にカサカサになり、つい「後半」ではパツパツ割

れができるまでになつてしまいました。手荒れの原因は私にあるので痛さには耐えるのですが、家計に悪影響をおよぼすほどのストッキング消費量が増すのと、お風呂上りに子供たちのスキンケアに時間がかる(ガサガサの手でクリームを塗るので、痛くて逃げまくるため)のに頭を悩ませております。

しかし、根性なしで、ずばり私が考える対策はダダ1つ。「早く暖かくなあれっ！」です。みなさんも、自分に甘いところをおありですか？

今年も「育英会だより」共々「ちよっと一息」のご愛読をよろしく願います。

育英基金

『募金・ご寄附』のお礼

2012年9月から11月までに
ご寄附を頂いた皆さまのご芳名を
掲げ、厚くお礼申し上げます。

※ご芳名(敬称略)

1、漁協系統募金(各都道府県の
漁連、信漁連等で構成する「漁船
海難遺児を励ます地方協議会(略
称・地励協)」等を取り扱った分、
一般寄附を含みます。)

〔9月〕◎北海道▽しりうち大漁
まつり―売上金の一部▽地励協◎
青森県▽AMLS協議会▽豊漁・
豊作祈願祭▽地励協◎千葉県▽全
国水産物商業協同組合連合会―第
59回全水産連全国(千葉)大会募
金◎京都府▽佐々木新一郎―香典
返し

〔10月〕◎北海道▽第12回厚岸漁
協感謝祭―売上金の一部◎青森県
▽第63回全国漁港漁場大会募金◎
三重県▽斑目雄◎長崎県▽三重地
区みなと祭り実行委員会▽長崎県
漁連職員OBなぎさ会▽長崎大学
水産学部▽地励協◎沖縄県▽井ノ
口物産(株)／沖縄砂利採取事業協同
組合／沖縄電力(株)／(社)沖縄県農林
水産団体共済会／新日本海事(株)／
農林中央金庫那覇支店―第20回沖
縄チャリティーゴルフ大会▽地励
協

〔11月〕◎青森県▽青森県立三沢
商業高等学校◎京都府▽地励協◎
山口県▽シーパラダイス室津▽松
村久▽八里ヶ瀬漁場利用調整協議
会▽地励協◎徳島県▽上田幸男◎
香川県▽森俊洋―香典の一部◎大
分県▽大分県水産振興実行委員
会▽大分県水産養殖協議会青年部
◎熊本県▽全国豊かな海づくり大

会熊本県実行委員会◎沖縄県▽第
32回全国豊かな海づくり大会募金

2、一般寄附

〔9月〕◎青森県▽大山チセ◎埼
玉県▽小野沢通◎千葉県▽飯村久
子◎東京都▽安川糸子▽伊藤恭子
▽榎本みづ枝◎神奈川県▽横浜水
産物商業協同組合青年部―第59回
全水産連全国(千葉)大会にて◎
静岡県▽小林艶子◎鳥取県▽浜野
茂夫◎広島県▽広島魚商協同組合
青年部―第59回全水産連全国(千
葉)大会にて◎福岡県▽福岡水産
物商業協同組合―第59回全水産連
全国(千葉)大会にて◎熊本県▽
南九州ビバレツジサービス(株)―自
販機売上金◎鹿児島県▽富元小松

〔10月〕◎青森県▽全国海友婦人
会八戸支部◎岩手県▽全日海岩手
事務所▽全国海友婦人会宮古支部
／全国海友婦人会山田支部―全日
海岩手事務所経由◎宮城県▽宮城
海上保安部◎埼玉県▽小野沢通▽
富元克昌◎千葉県▽飯村久子◎東
京都▽阪井光平▽町田幸子◎富山
県▽JFくろべ／同従業員一同／
イベント募金◎静岡県▽上柳昭治
◎鳥取県▽浜野茂夫◎広島県▽
ビューポートくろべチャリティーコ
ンサート―全日海経由◎鹿児島県
▽富元小松

〔11月〕◎宮城県▽工藤和子▽島
貫文好◎茨城県▽茨城県立海洋高
等学校―文化祭募金▽藤本歌子◎
埼玉県▽小野沢通▽富元克昌◎千
葉県▽飯村久子◎東京都▽コープ
ビル管理会▽榎本みづ枝▽海洋
水産システム協会▽(社)本州鮭鱒増
殖振興会▽明治大学付属中野八王
子中学校・高校生徒会福祉委員会
―文化祭募金◎愛知県▽名古屋市
立東陵中学校生徒会―募金◎鳥取

県▽浜野茂夫◎愛媛県▽柴田光明
◎宮崎県▽宮崎県立宮崎海洋高等
学校―文化祭募金▽中野順一◎鹿
児島県▽富元小松◎その他▽ナカ
ムラマサナオ

3、ゆび募金(ジャパン・カイン
ドネス協会経由)

▽コープビル管理会▽JF横浜市
▽JF岩▽JF上宮田▽JF二宮
町▽JF葉山町▽JFくろべ▽兵
庫県新水産会館▽JF早田原▽日
南市漁協女性部加工グループ▽J
F北さつま

編集後記

謹んで年始のご挨拶を申し上げ
ます。新しい年が、皆さまにとつ
て良き年となりますよう心からお
祈り申し上げます。

▼本会育英事業を支えていただい
ている皆さまへの感謝の気持ちを
大事にし、奨学生の励みとなる育
英事業の一層の充実に努力してい
きたいと思っております。また、漁船海
難事故は年間700件も発生して
いる状況にあります。今後、海難
事故が無くなることを願うとも
に、漁業者のかたがたには、乗船

時にはライフジャケットの常時着
用をぜひ心がけていただきたいと
思います。

(佐藤)

▼当育英会の仕事に就いて丸3年
を迎えました。この間、新規事業
とし、遺児・保護者交流活動「ふ
れあい旅行」の継続的実施や、公
益法人への移行完了等、忙しいな
がらも充実感に満ちたことも多々
ありました。しかしながら、つら
い出来事としては東日本大震災で
した。今年も大きな自然災害や、
海難事故が無いようにお祈り申し
上げます。

(大野)

▼新法人へ移行し、新年を新しい

(2012年12月15日現在/単位:人)

都道府県別奨学生数

都道府県名	給 与 奨 学 生					貸与奨学生	合計	2012年度第3回採用者					合計
	幼児	小学生	中学生	高校生等	小計	大学生等		幼 児	小学生	中学生	高校生等	大学生等	
北 海 道		5	10	16	31	6	37						
青 森		2	3	6	11	1	12						
岩 手	2	7	10	8	27		27						
宮 城	4	10	13	15	42	1	43						
秋 田													
山 形				1	1		1						
福 島	3	17	5	6	31		31						
茨 城													
千 葉	1	2	3	2	8	5	13						
東 京				2	2	2	4						
神 奈 川	2	2	1		5	1	6						
新 潟		1	1		2		2						
富 山													
石 川		2	1	1	4		4						
静 岡				2	2	1	3						
愛 知													
福 井			1	1	2		2						
三 重													
京 都			1		1		1						
大 阪													
兵 庫			4	2	6	2	8						
和 歌 山	1				1		1	1					1
鳥 取		1		1	2		2						
島 根				3	3		3						
岡 山		1	1		2		2						
広 島		1		1	2		2						
山 口			3	2	5	1	6						
徳 島			1	1	2	1	3						
香 川		1	1	1	3		3						
愛 媛	1	3	3	5	12	1	13						
高 知						3	3						
福 岡		1		5	6		6						
福岡有明海		2	1		3		3						
佐 賀 玄 海		4	1		5		5						
佐賀有明海													
長 崎	2	6	2	6	16		16						
大 分			1	2	3		3						
熊 本		4			4		4						
宮 崎		3	2	2	7	1	8						
鹿 児 島	1	5	3	3	12		12						
沖 縄		2	3	3	8	3	11		1	1			2
合 計	17	82	75	97	271	29	300	1	1	1			3

*給与奨学生には特別支援学生を含む。
*貸与奨学生には入学一時金などの奨学生を含む。
*休学中の奨学生は人数に含まない。
*2012年度第3回採用者は内数である。